

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
警察運営費	1,610,509 (1,381,303)  国 1,865  使 258,799  財 4,717  諸 49,064  ⊖ 1,296,064	1 犯罪被害者等への支援強化事業 4,796  身体犯罪被害者にかかる初診料、性感染症等検査費用、再診料、診断書経費等を公費負担するとともにカウンセリング等を行うほか、犯罪被害者に対する直接支援業務を行い、被害者やその家族等への支援を強化する。  ② DX人材育成事業 13,848  ノーコードツールの導入により、自律的に警察業務の合理化・効率化に取り組むDX人材を育成し裾野を広げる。
装備費	791,145 (691,172)  国 199,261  繰 19,121  起 155,300  ⊖ 417,463	1 警ら用自動車等の更新整備 217,671  警察活動の基盤となる警察車両につき、環境に配慮し、災害時の非常用電源としても活用できるPHEV車両等の次世代自動車の導入を行う。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>警察施設費</p> <p>財 50,986</p> <p>繰 46,638</p> <p>起 1,091,100</p> <p>⊖ 281,150</p>	<p>1,469,874 (1,081,301)</p>	<p>Ⓔ 1 交番・駐在所の新築整備 140,600</p> <p>地域防災の拠点となる県下全ての交番・駐在所のうち経年劣化による老朽化が著しい2施設を新築整備する。</p> <p>ⓃⒺ 2 大津北警察署移転新築整備 119,930</p> <p>老朽・狭隘が著しい大津北警察署の移転新築整備に伴い、移転先用地の造成工事等を行う。</p> <p>[債務負担行為] 期 間：令和8年度 限度額：447,658 内 容：大津北警察署の移転新築整備に伴う移転先用地の造成工事等を行う。</p>
<p>運転免許費</p> <p>使 845,444</p> <p>諸 1,100</p> <p>⊖ 102,539</p>	<p>949,083 (1,315,510)</p>	<p>Ⓝ 1 免許諸手続デジタル案内サービス事業 5,554</p> <p>AIチャットボットおよび音声IVRサービスの導入により、免許諸手続に関する情報をスムーズに受け取ることができる環境を整備し、県民の利便性の向上を図る。</p> <p>( ①AIチャットボット 2,772 ②音声IVRサービス 2,782 )</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
刑事警察費  国  使  繰  起  ⊖	1,180,961 (912,211)	1 捜査技術高度化経費 7,720
	24,817	社会情勢の変化や悪質巧妙化する犯罪に的確に対応するため、先端技術を活用した捜査資機材の高度化を図る。
	38,788	2 安全・安心アプリ利用促進事業 5,792
	2,571	県民の生活スタイルに応じた必要な情報を提供するとともに、自発的な行動変容に繋げるための防犯アプリを導入し、県民全体の犯罪抑止力を向上する。
	222,300	①アプリ周知広告 2,228 ②アプリ保守業務委託 3,564
	892,485	3 非行・被害防止教室のオンライン化事業 1,896
		児童・生徒に対する非行・被害防止教室をオンラインで実施し、多様なニーズに応えながら安全環境の整備を図る。
		4 SNSで犯罪防ぐ情報発信事業 3,147
		ソーシャルメディアの機能を積極的に活用し、県内の若者を中心に「闇バイトなどの犯罪に加担しない」「家族が犯罪の被害に遭わない」ための情報発信を行う。
		5 安全・安心なサイバー空間構築推進事業 2,571
		サイバー犯罪被害を防止するため、県内の中小企業向けのサイバーセキュリティセミナーを拡充し重層的な対処能力を向上させるとともに、セミナーの講師となる職員のスキルアップを図る。
		6 地域見守りカメラ設置促進事業 2,310
		防犯カメラを無償貸し付けすることにより、防犯活動への補填効果および行政機関への設置促進の仕組みづくりを促すため、カメラの購入を行う。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
交通指導取締費	2,131,135 (1,724,426)  国 312,876  使 131,991  諸 80,425  起 724,800  ⊖ 881,043	1 地域連携・協働によるお試し自主返納事業 255  「お試し自主返納」を継続実施し、高齢ドライバーに対して、今後の運転のあり方について提案するとともに、県民運動として社会全体で考える気運作りを進める。  ② 安全・安心アプリへの交通情報発信機能追加事業 4,290  交通事故分析に基づくタイムリーな情報発信機能を追加することにより、身近な交通危険場所等に対する防衛感度を高め、県民全体の事故抑止力を向上する。  3 交通安全施設整備費 1,469,974  (1) 交通管制センターの整備（補助） 261,862  交通の安全と円滑化を推進するため、路上に設置の集中制御機や情報収集装置の更新等を行う。  (2) 交通信号機の整備（補助） 166,052  交通規制の効率化や高齢者等交通弱者の安全を図るため、視覚障害者用付加装置の設置等の信号機改良整備を行う。  (3) ゾーン・通学路対策事業（補助） 180,836  生活道路における歩行者等の安全対策として、区域内の最高速度を30kmに規制する「ゾーン30」を実施するとともに、通学路や未就学児等が利用する道路においては、横断歩道等の整備を中心とした道路標識標示の整備を行う。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>(4) 円滑化対策事業（補助） 37,735</p> <p>交通の円滑を図るため、信号機の新設及び改良を行う。</p> <p>(5) 交通信号機の整備 145,986</p> <p>信号機の移設や信号灯器の改良整備等を行う。</p> <p>(6) 道路標識・標示の整備 192,140</p> <p>道路標識・道路標示の更新等を行う。</p> <p>(7) 道路新設に伴う交通安全施設整備 154,260</p> <p>道路新設に伴い必要となる信号機等の新設を行う。</p>